三柱神社秋季大祭【みはしらじんじゃしゅうきたいさい】

開催場所	**柳川市三橋町高畑 三柱神社**
開催日	**10 月 11 日～10 月 13 日 毎年 10 月体育日の前日**

【芸能の概要】

通称、おにぎえ。「神幸」は三柱神社を出発し柳川日吉神社から八剣神社を役職（衣装あり）と氏子 40 名で行列し、奉納しながら練り歩き、三柱神社へもどり着く。この行列を盛りあげるため、県無形文化財のどろつくどんや踊山が賛助参列をし、400 人規模の行列となる。

【芸能の特徴】

柳川藩の藩祖、立花宗茂公とその夫人、及び養父の 3 人を神としてまつる、三柱神社の秋季大祭。1826（文政 9）年に三柱神社の御遷座祭が行われた時から、御神幸が始まったのではないかといわれている。戦時中も中断することなく続けられた。

祭りの中日に総勢 400 人程の御神幸行列を行う。どろつくどんの山車、踊り山、稚児行列、各種踊りの団体などが行列を盛り上げながら練り歩く。どろつくどんは、山車の上で舞とお囃子を披露しながら練り歩く。道ばやし、参道ばやし、神楽ばやし（神社で奉納する際の舞）を時と所により使い分ける。囃子の変わり目には、太鼓とドラを激しく鳴らして士気を鼓舞するシャギリを行う。舞やお囃子は、町ごとに若干異なる。能に発した舞で、喜怒哀楽を簡略化した所作で表現する、庶民的な芸術である。

【使用する祭具・道具など】

どろつくどんの山車には、天狗面、お多福面、チャリ面、般若面に加え、数十個の面をぶらさげており、面に合わせて踊りを変える。お囃子は、大太鼓、小太鼓、ドラ、スリガネ、横笛。

・アクセス

西鉄柳川駅より歩いて 5 **分**

・周辺の観光

雲龍の郷・雲龍の館、B&G **海洋センター**
千燈明(7 **月**)**、まつりみつはし**(10 **月**)**、**
園田杯争奪少年柔道大会(11 **月**)

・近くの特産品

レタス、米、麦、清酒。